

ARENEWS

筑波大学先導的研究者体験プログラム(ARE)とは、学群1～3年生対象の研究者生活をリアルに体験できるプログラムです。

2013.3 No.2

●第2回サイエンス・インカレ「サイエンス・インカレ奨励表彰」を受賞!

3月2日・3日に幕張メッセ国際会議場において、文部科学省主催の自主的研究の祭典「第2回サイエンス・インカレ」が開催されました。全国の大学生から計234組の応募があり、書類審査を通過した148組中145組(口頭発表47組、ポスター発表98組)が発表を行いました。

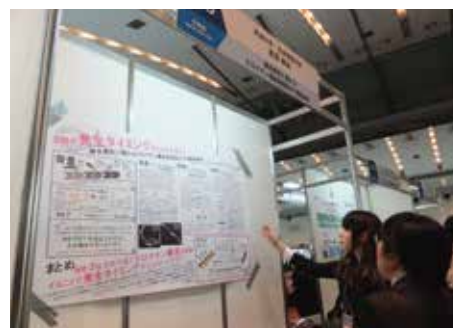
以下の4名のARE参加学生が選ばれ、榎本詢子さん(応用理工学類4年)が見事に「サイエンス・インカレ奨励表彰」を受賞しました。

■口頭発表者 3名

- **工学系** (卒業研究に関連する研究)
理工学群応用理工学類 4年 榎本詢子
「癌転移抑制剤開発のためのマイクロデバイス」
- **生物系** (卒業研究に関連しない研究)
生命環境学群生物資源学類 3年 返町洋祐
「糸状菌における二次代謝の電気化学的制御と作用機構の解明」
- **生物系** (卒業研究に関連する研究)
生命環境学群地球学類 4年 菊池輝海
「三宅島噴火後の植生回復における地形の影響」

■ポスター発表 1名

- **生物系** (卒業研究に関連する研究)
生命環境学群生物学類 4年 恩田美紀
「線虫発育に関わるクロマチン構造制御因子の機能解析」



榎本さんのコメント

2年の秋から研究を始め、3年からAREに参加しました。当初は、研究をする事がどんなことかも知りませんでした。ただ、「せっかくだし、やってみようかな」と思っただけです。でも、あの時チャレンジして良かった。AREから続けた研究内容で、全国の学部生が集まるサイエンス・インカレで発表し、工学系の卒業研究に関連する研究部門で全国1位になったのは、あの「やってみようかな」という単純な気持ちからです。あの時、そう思わせてくれた福田先生、AREの先生方には本当に感謝しています。やってしまった後悔よりも、やらずに後悔することの方が多くはないのでしょうか。小さな前進の一步が大きな成功につながると信じています。みなさんも、自分の可能性をどんどん広げていってください。

IMAGINE
THE
FUTURE.



筑波大学
University of Tsukuba

●平成24年度先導的研究者体験プログラム 研究発表会(ご報告)

平成25年1月21日(月)、筑波大学第三エリア3A棟2階(3A204、3A207)において、先導的研究者体験プログラムの平成24年度研究発表会が行われました。

研究発表会は阿江通良副学長の開会の挨拶でスタートしました。その後、種目S、Aで採択された2名がまず15分の口頭発表を行いました。今年度は、成果の出ている種目B、Cの学生にも口頭発表の希望を募り、書類選考で選ばれた種目Cの3名にも、引き続いて10分の口頭発表をしてもらいました。5名ともかなり緊張していたようですが、決められた時間内に研究成果を分かりやすく説明していました。各講演後には、評価委員の先生方だけでなく、一般参加者からも多くの質問があり、活発な議論がなされました。会場からの鋭い質問にどう受け応えて良いのか、戸惑った場面も見受けられましたが、今回の経験を今後に活かしてもらえればと思います。

口頭発表に引き続き、2分間のインデックスプレゼンテーションを行いました。インデックスプレゼンテーションでは4人が欠席し、30件の発表が行われました。2分という短い時間でしたが、研究成果を聴衆に伝えようと皆さん工夫していたようです。ポスターセッションの時間は、一人70分の持ち時間でポスターを発表してもらい、今回もフリーディスカッションの時間を設け、より多くの方と議論できるよう工夫しました。事前の周知の効果があつたようで、興味を持って頂いた教職員、大学生や大学院生等、総勢約160人と前回のほぼ2倍の参加者があり大盛況でした。ポスター前では、活発な議論がなされ、参加学生にとって、有意義な時間になったのではないかと思います。

受賞者一覧

【審査委員賞】

生命環境学群	生物資源学類	2年	陳碩也
--------	--------	----	-----

【ポスター賞】

理工学群	工学システム学類	3年	中澤有理
理工学群	工学システム学類	3年	坂井琢人
生命環境学群	生物学類	3年	戸祭森彦
生命環境学群	生物学類	3年	大沢和広
生命環境学群	生物資源学類	2年	徐照
生命環境学群	生物資源学類	3年	三浦一輝



●平成24年度の教育に係る学長表彰について

『開かれた大学による先導的研究者資質形成プログラム』の取組が、理数分野において強い学習意欲を持つ学生の能力の育成を行い、本学学士課程における教育の質の向上に多大な貢献をしたと評価され表彰されました。



●平成24年度ARE参加学生の研究成果発表実績

■学会等発表実績

国際学会発表件数：1件（ポスター発表1件）

【ポスター発表】

- ・戸祭森彦(生命環境学群生物学類3年), Marking Effect of Egg-Larval Parasitoid, *Chelonus Inanitus*, International Workshop on Science and Patents 2012(平成24年10月23日,筑波大学)

国内学会発表件数：7件（口頭発表1件，ポスター発表6件）

【口頭発表】

- ・坂東侑哉(生命環境学群生物資源学類3年), 微小重力環境においたマメ科植物ムクナの根のドーパ分布量の解析,第26回日本宇宙生物科学学会学術集会(平成24年9月27日から29日,阿波観光ホテル、長井記念ホール)

【ポスター発表】

- ・返町洋祐(生命環境学群生物資源学類3年), 化学修飾電極による微生物燃料電池の高出力化と作用機構の解析,日本農芸化学会 関東支部大会2012(平成24年10月27日から28日,新潟薬科大学)
- ・高橋玄(生命環境学群生物学類2年), 里山景観に生息するナミアメンボとヒメアメンボの群れ構造と繁殖戦略,日本動物行動学会第31回大会(平成24年11月23日から25日,奈良女子大学)
- ・返町洋祐(生命環境学群生物資源学類3年), 微生物を利用した電気化学的手法による簡易的な土壌評価法の開発,SATテクノロジー・ショーケース 2013(平成25年1月22日,つくば国際会議場)
- ・坂口和彦(情報学群情報科学類2年), CoqによるPostScriptプログラミング,第15回プログラミングおよびプログラミング言語ワークショップ(平成25年3月4日から6日,東山温泉「御宿東鳳」)
- ・高橋玄(生命環境学群生物学類2年), 里山景観に生息するナミアメンボとヒメアメンボの繁殖戦略,第60回日本生態学会静岡大会(平成25年3月5日から9日,静岡県コンベンションアーツセンター)
- ・陳碩也(生命環境学群生物資源学類2年), Potential of compressed wood as a material for erhu soundbox, 第63回日本木材学会大会(平成25年3月27日から29日,岩手大学)

コンテスト：2件（口頭発表1件，ポスター発表1件）

【口頭発表】

- ・返町洋祐(生命環境学群生物資源学類3年), 糸状菌における二次代謝の電気化学的制御と作用機構の解明,第2回サイエンス・インカレ(平成25年3月2日～3日,幕張メッセ国際会議場)

【ポスター発表】

- ・返町洋祐(生命環境学群生物資源学類3年), 微生物燃料電池における低コスト素材の利用と出力密度の向上,第2回リサーチフェスタ2012(平成24年8月31日,つくば国際会議場)

■受賞実績

- ・第2回リサーチフェスタ 2012「ソフトイーサ賞」
返町洋祐(生命環境学群生物資源学類3年)
- ・International Workshop on Science and Patents 2012「ポスター賞」
戸祭森彦(生命環境学群生物学類3年)
- ・筑波大学「学生表彰」
返町洋祐(生命環境学群生物資源学類3年)



先導的研究者体験プログラム(ARE)に関するご質問ご相談は上記事務局にお問い合わせください。

AREに参加して自分の好きなテーマで研究をしよう! ～H25より全学群の1～3年生が応募できます～

平成25年度より全学群に所属する1～3年生が応募できます。研究分野も制限はありません。編入生やG30の学生も応募ができます。研究未経験者も歓迎! 研究してみたいけど、何から始めればいいのかわからない…と悩んだときは、テーマ探しから始めましょう。AREでは授業を開設しています。「研究者入門Ⅰ」(火6春学期AB)ではテーマの探し方や研究計画の立て方、文献の検索方法などを学ぶことができます。授業を受けることができない学生さんには個別でアドバイスをします。以下の方法で申請相談の予約をしてください。

H25公募要領の公開は5月中旬、募集回数は年1回、期間は7月中旬(春学期ABのテスト期間終了後)を予定しています。応募状況により、追加募集や募集期間の延長を行なうこともあります。

7月の募集に向けて、ゆっくり準備をしていきましょう!

申請相談の予約方法

H25より**申請相談は予約制**となります。

メール本文に下記の①～④を記載してお送りください。

研究交流室でも予約ができます。相談は平日のみになります。17時以降の予約も可能です。

携帯電話から送信する場合は、メールを送信する前に、PCメールを受信できるよう設定してください。

メールを確認後、受理メールを送信します。

受理メールが届かない場合は研究交流室で予約をしてください。

【送信先】AREapplication@ac.iit.tsukuba.ac.jp

【件 名】ARE 申請相談予約

【本 文】① 氏名

② 学類・学年・学籍番号

③ メールアドレス(PC)

④ 相談希望日時

H25年間スケジュール(予定)

4月	授業「研究者入門Ⅰ」
5月	公募要領を公開 説明会を開催
7月中旬	研究計画書の募集 書類審査・面接審査
8月上旬	認定書授与式(研究スタート)
10月	授業「研究者入門Ⅱ」
1月中旬	研究発表会
2月末	実績報告書提出
3月	報告書の修正
※その他、セミナー等を実施	

最新情報はWEBサイトでCheck! → <http://www.esys.tsukuba.ac.jp/AC/RS/>